

アジレントのファーストシーケンシャル法

Agilent フレーム原子吸光

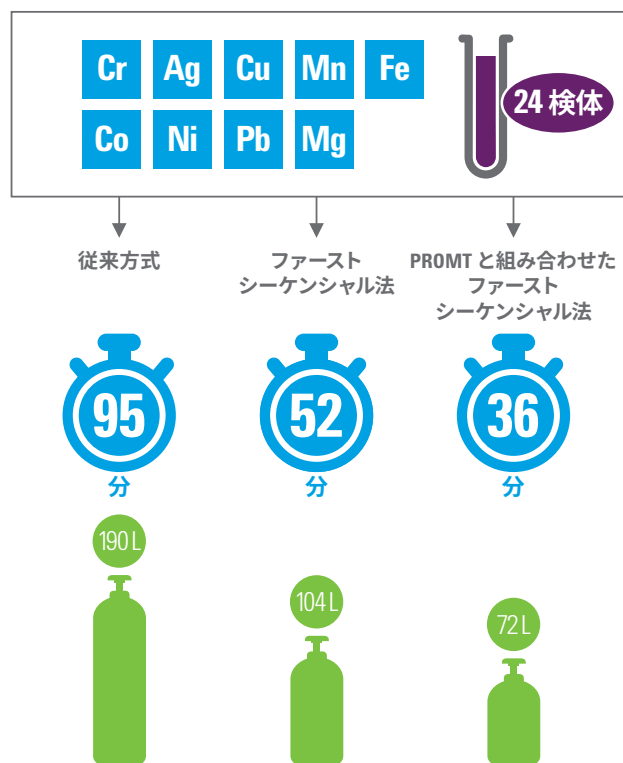


分析時間とガス消費量を 60% 以上削減

アジレントのフレーム原子吸光のファーストシーケンシャル (FS) 法は、高いサンプルスループットを実現し、分析コストを削減します。追加購入のアクセサリは不要です。PROMT (精度最適測定時間) モードと組み合わせることにより、ガス消費量と分析時間を 60% 以上削減することが可能です。

ファーストシーケンシャル法の特長

- 従来方式の原子吸光と比較し生産性が向上。1時間あたり、より多くのサンプルを測定可能
- アセチレンと亜酸化窒素の消費量が少なくなり、ランニングコストを削減
- PROMT モードと組み合わせることにより、分析時間がさらに短縮。目的とする精度限界を設定することにより、高濃度の元素をすばやく測定でき、低濃度の元素に対しより多くの分析時間を確保して精度優先測定
- 分析で使用するサンプル量が少なく済むため、メンテナンス頻度、サンプル廃液、試薬、廃棄処理コストが減少
- 簡単な設定と迅速なメソッド作成



24 のサンプル中の 9 元素を 3 つの方法で測定しました。
従来方式、ファーストシーケンシャル法、PROMT モードと組み合わせたファーストシーケンシャル法です。
分析はオートサンプラを利用。ブランクと 3 本の標準液を使用しました。
10 サンプルごとに 5 秒間の洗浄を行いました。

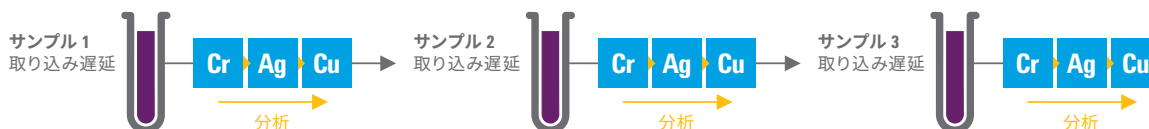


Agilent Technologies

ファーストシーケンシャル法の測定例

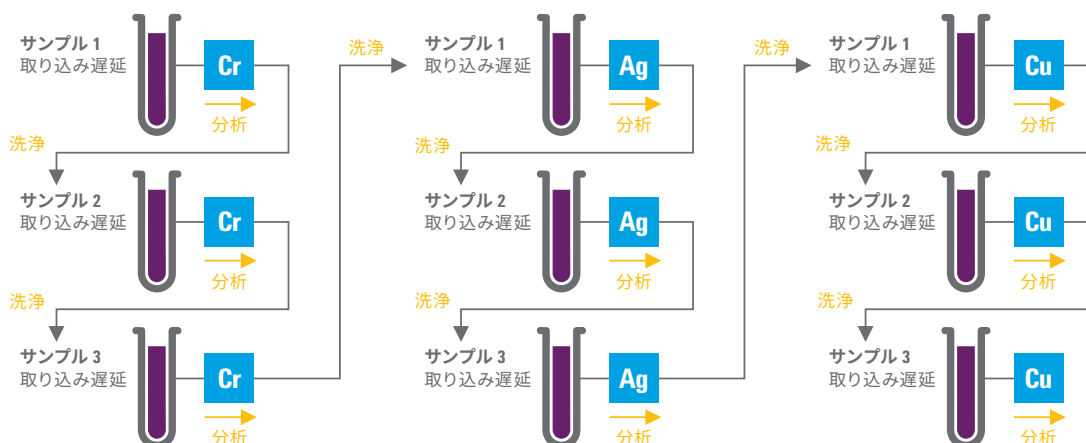
ファーストシーケンシャル法

ファーストシーケンシャル法では、一度の吸引で指定したすべての元素を測定します。

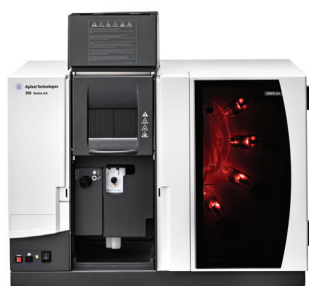


標準方式

従来方式の原子吸光では、1度のサンプル吸引で1元素しか測定できません。したがって、多元素を測定する場合、サンプルを何度も繰り返し測定しなくてはなりません。



アジレントのファーストシーケンシャルフレーム原子吸光



4本ランプの240FS AA



8本ランプの280FS AA

ホームページ
www.agilent.com/chem/jp

カスタムコンタクトセンタ

0120-477-111

email_japan@agilent.com

本製品は一般的な実験用途での使用を想定しており、医薬品医療機器等法に基づく登録を行っていません。本文書に記載の情報、説明、製品仕様等は予告なしに変更されることがあります。

アジレント・テクノロジー株式会社

© Agilent Technologies, Inc. 2017

Printed in Japan, April 3, 2017

5991-7986JAJP



Agilent Technologies